

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌北 24 条校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		親御さんからの目が届きやすい環境である。	もう少し広い方が良いと感じるが物件の条件上難しい一面もありますので、継続して検討していきます。
	②	職員の配置数は適切である	○		人員基準を満たすように配置している。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		支援に支障が出ないように、机や椅子の配置をお子さんに合わせて配置している。	ビルの共有スペースの手洗い場が少し高いためお子さんが手洗いしやすいように、台座の購入を見当てしていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		日常的に清掃・加湿している。イベントの際や配置を考え、不必要なものは移動させている。	継続して、お子さんが心地よく怪我無く過ごすことができるように物品の配置を考慮していきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		必要に応じて情報共有ができています。	業績評価で目標立案しています。達成出来るように振り返りための面談や会議を行っています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			親御さんから集まる機会が欲しいとの要望がありましたが、設定が遅れているため企画を考えていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎年 HP にて毎年公表している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		会社としての基本方針が固まったうえで、検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		発達支援研究所の定期的な研修を受講している。	
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		NC プログラムを活用している。保育園や幼稚園の様子を聞き取り、分析している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		統一したツールを使用している。	もう少し細分化して、評価可能なアセスメントシートが必要と感じているため検討していきます。

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインを参考に項目をモニタリングに書き込みわかりやすくしている。 領域ごとに支援計画を立てるように意識を持っている。	今後、5領域に渡って計画でできるようアセスメントを確立していきたいと考えます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画に目を通すことを業務付けされている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		会議を開き、内容など情報共有が図れている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		達成度を加味しながら、固定化しないように活動している。制作や運動、自由遊びなどを取り入れている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		毎月2回、小集団など他児と交流できる内容を企画し親御さんに案内している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼でその日のご利用者様の確認を行っている。	児発の集まりの時間は、広いところで助っ人役のスタッフが入り手遊び歌や模倣遊びができるようにしています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼を行い、情報共有に努めている。	支援の振り返りや引き継ぎを行っています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		その日の、様子を記録に必ず残している。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		4か月ごとに更新し、情報の共有、今後の課題の話し合いが出来ている。	
関係機関や保護者との	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者が参加するように心がけている。連携をとる時には、来所していただき、ご本人の様子を見守っている。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保健センターや子育てサロンに周知に伺っている。	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当するお子さんはいらっしゃらない。

連 携	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当するお子さんはいらっしゃらない。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			親御さんからの要望や必要に応じて取り組んでいきます。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			親御さんからのご要望がありましたら、速やかに対応させていただきます。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		年に1回はセンターのコーディネーターの訪問があり、情報交換を行っています。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		個別支援という面を考えると難しい部分もありますが、保育園や幼稚園との繋がりを大切にしています。
	㉙	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		勤務の関係上機会は少ないですが、機会があった時には、参加するように心がけていきます。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		親御さんにその日の様子を口頭でお伝えしている。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○	札幌地区で開催した保護者会のご案内をしている。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に書面また口頭にて説明している。	
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援計画書にねらいなどを明記し、親御さんにも説明した中で活動に取り組んでいる。	個別支援計画に記載しているが、項目と照らし合わせた説明が出来ていないので、今後改善していきます。
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的に親御さんから、様子をお聞きするよう、心掛けている。	ニーズに応じて面談を行っています。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	札幌地区で開催した保護者会の案内をしている。 同じ時間帯にいる親御さんとの交流はあり、イベントへのお誘いをしている。	今後、事業所内でも計画していきます。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		こちらのスケジュールをお伝えし、最短でお話が出来るようにしている。	

	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		きりり通信やイベントの案内を毎月作成しお渡ししている。	
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	○		十分留意し鍵付きロッカーでの保管をしている。	
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		利用者様に合わせて声量やスピードに気を付けたり、視覚支援を行うなどしている。また、気持ちカード等を用いている。	保護者様に対しては、連絡帳を使い、日常の困りごとや、こちらからの発信を行い意思疎通に努めています。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている		○		親御さんの中に通所に関して知られたくないという保護者様がいらっしゃるので積極的には取り組んでいませんが、親御さんから要望があった際には、取り組む準備をしています。
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		感染症については道具の場所や手順を確認している。	マニュアルに関しては、保護者様が手に取って読めるように室内に設置しています。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に3回の避難訓練の実施や、教室内に避難経路や避難場所の掲示をしている。	
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		フェイスシートの確認や親御さんのへの聞き取りを実施している。	
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		調理イベントの際に事前に聞き取りをしている。	
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		再発の防止のため報告書を作成し情報共有している。	会議を持ちスタッフにも周知する時間を持ちます。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を実施し、職員にも周知している。	
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			今、記載している方はいないが、もし必要なお子さんがいらっしゃる場合は計画書に記載し親御さんの同意のもと、怪我がないように支援して行きます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌北 24 条校

保護者等数（児童数）：7 回収数：6 割合：86 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	1	0	0	転がりや移動ができるスペースがある。	これからも安全に移動や運動ができるように心がけていきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5	0	0	1	時間の変更にも対応してもらっている。	臨機応変に対応できる限り、調整していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	0	0	1	活動の内容が壁に貼ってありわかりやすい。	スケジュールは視覚支援で見えてわかるように取り組んでいきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	1	0	0	個別と集団のスペースがわかりやすい。	場面を切り替えることが出来るように構造化を図ります。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6	0	0	0	子どもベースや他事業所での活動を考慮し作成してもらっている。	お子さんの発達段階や様子を分析しながら個別支援計画を作成していきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	0	0	どんな相談にも、親身になっていただき、支援してもらっている。	ガイドラインに照らし合わせてながら、そのお子さんにあった支援が提供できるように支援内容を決めていきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6	0	0	0	偏らずにやってもらえている。	スタッフで話し合いながら楽しく活動が出来るようにプログラム考えていきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	0	1	3	コロナ等もあり、ない。また、利用を始めたばかりでわからない。	
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6	0	0	0	1 時間かけて説明などして頂いている。	これからも丁寧にご説明できるように心がけていきます。

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	1	0	2	子供の性格と一緒に理解してアドバイスもらっている。	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	0	0	0	細やかな事へもお気遣い頂いている。	日々の様子を親御さんにお伝えしていく中で、今のお子さんの状況を理解していきたいと思います。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	0	0	2	常に気にかけていただいて助かっています。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	0	1	1	ママ同士のつながりを作ってもらえている。	※無回答 1名
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3	1	0	2		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	0	0	2	小集団活動など声掛けしてもらったり、パラスポの活動を紹介してもらった。	催し物のお知らせがあった時には教室内に掲示をしたり、興味ありそうな催しがあった時には個別にお声がけしていきます。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5	0	0	1		
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	0	0	1	避難訓練してもらえた。	これからも、皆さんが参加できるように日程や内容などを調整していきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	0	0	2	定期的に行われている。	
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	6	0	0	0	前日から楽しみにしている。	これからもお子さんが楽しく通えるように、私たちもプログラムや活動内容を考えていきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	5	1	0	0	他児との関わりの中で職員から子どもへのフォローがなく悲しかった。本人も色々理解できているので、他児や本人それぞれにフォローがほしい。	本児と他児の気持ちを大事しながら、様々な理由で通われているお子さんがいるということを、通われているお子さんに伝える事が出来るように日々の支援に生かせるように取り組んでいます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。